

# デンカハードロックⅡ

## アクリル系軽量樹脂モルタル デンカダイナライト 不陸調整用

### 1. はじめに

デンカダイナライト不陸調整用は液状主剤（A剤）と特殊軽量骨材（B材）からなる室温硬化型アクリル系軽量樹脂モルタルです。軽量（比重＝1. 1）のため、垂直面や天井面の施工が可能です。主にコンクリート構造物の不陸・段差部の調整、巣穴処理に適しています。

### 2. 特 長

#### ①作業性

特に薄塗りに適した作業性を有します。

#### ②軽量モルタル

比重は約1. 1で、垂直面や天井面に施工してもダレません。

#### ③速硬化

施工後、数時間で硬化し、工期短縮を可能とします。

#### ④低温硬化性

低温硬化性に優れ、 $-5^{\circ}\text{C}$ でも硬化するため、冬場施工が可能です。

#### ⑤安全性

低臭気で皮膚刺激性の低い原材料を厳選して使用しており、臭気が気になりません。

### 3. 品 種 ・ 荷 姿

	A剤	B材
夏 用	デンカダイナライトSA不陸調整用	ダイナライトB不陸調整用
春 秋 用	デンカダイナライトRA不陸調整用	
冬 用	デンカダイナライトWA不陸調整用	
荷 姿	2. 5Kg ボトル	3. 5Kg 袋

### 4. 性 状

項 目	A剤	B材
主 成 分	変性アクリル樹脂	特殊軽量骨材
外 観	半透明粘稠液	薄灰色系粉体
粘 度 [mPa·s]	4000程度※	—
標準混合比率 [質量比]	2. 5	3. 5
混合時比重	1. 1	

※デンカダイナライトSA：25℃/デンカダイナライトRA：15℃/デンカダイナライトWA：5℃ 測定

## 5. 硬化物特性例

試験項目	社内規格値	試験方法
圧縮強さ [N/mm <sup>2</sup> ]	20以上	JIS K 7181
曲げ強さ [N/mm <sup>2</sup> ]	10以上	JIS K 7171
引張強さ [N/mm <sup>2</sup> ]	5以上	JIS K 7161
コンクリート付着強さ [N/mm <sup>2</sup> ]	2.0以上 (母材破壊)	建研式

## 6. 硬化特性例 (可使時間及び硬化時間)

デンカダイナライト不陸調整用の硬化特性			
季節グレード	温度 (°C)	可使時間 (分)	硬化時間 (分)
W	5°C	25~70	50~140
R	15°C	25~70	50~140
S	25°C	25~70	50~140

## 7. 取り扱い方法・注意事項

- A剤は消防法の危険物に該当しますので、作業場所は火気厳禁としてください
- 作業場所は換気を良くし、保護メガネ、保護ゴム手袋、保護マスクなどの保護具を着用してください
- 下地との密着力を確保するために、プライマー（デンカDK550-003）のご使用を推奨します。
- 器具類に付着したものは、硬化する前に有機溶剤（シンナー、アセトン等）で洗浄してください。
- ご使用に際しては、「ダイナライト取り扱い説明書」をご参照ください。



**警告**







かぶれ注意



水生生物に有害

● ハードロックIIは消防法の危険物に相当しますので作業場は火気厳禁としてください。

● 一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますのでご注意ください。

● 皮膚や衣服に付着するとかぶれる恐れがありますので早めに石鹸で洗ってください。万一かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。

● 作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスク等の保護具を着用してください。

● 目に入ったり、飲んだり絶対にしてはいけません。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当てを受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当てを受けてください。

● 湿気や金属との接触を避け、密栓の上栓所に保存してください。

● 廃棄する場合は、A/B剤を少量ずつ混合し硬化してから捨ててください。また混合し、硬化した（硬化中）の樹脂は廃棄するまで水の中に浸漬させてください。

● 接着剤が付着した可燃物（フェス、段ボール、養生シート等）、注入器具も廃棄するまで水に浸漬させて下さい。

● 本製品の硬化物をディスクサンダー等で研磨した場合、研磨した粉末を集めたまま放置すると自然発火するおそれがあります。積もった研磨粉は、掃除機は使用せずに、ほうき等で集めた上、廃棄するまで十分な水に漬けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

**自然発火の注意**

- ・ディスクサンダー等による研磨粉は掃除機は使用せずほうき等で集めて十分な水に漬けて廃棄してください。
- ・樹脂の付着したフェス、ダンボール、ローラー、刷毛等は十分な水に浸漬させて廃棄して下さい。
- ・硬化時に発熱を伴います。

◇データ等記載内容についてのご注意◇

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保障をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前に試験を行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の営業担当部門で用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

# Denka

デンカ株式会社 インフラ・ソーシャルソリューション部門 特殊混和材部  
 〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1  
 電話 03-5290-5363 FAX 03-5280-5085